



作品評

この作品は、震災復興の証として「市民参画によりつくり続ける公園」を具体化するために、設計段階での市民ワークショップの開催、工事監理段階での市民参画メニューの実施、そして維持管理段階での市民運営の提案を行ったものであり、6年以上の長期に亘り、多様な設計や監理の業務を取りまとめた総合力の成果である。

震災の経験を後世に語り継ぎ、将来の災害に備える防災設備を有した防災公園としても機能しており、市民と行政が協働しながらつくり続ける仕組みが揃えられている。

神戸震災復興記念公園（愛称：みなとのもり公園）

株式会社エイト日本技術開発ほか5社 岡村郁雄ほか18名

計画地は、神戸市役所・東遊園地（慰霊と復興のモニュメント・1.17希望の灯り）につながる、国道1号を挟んだ旧 JR 貨物神戸港駅跡地である。

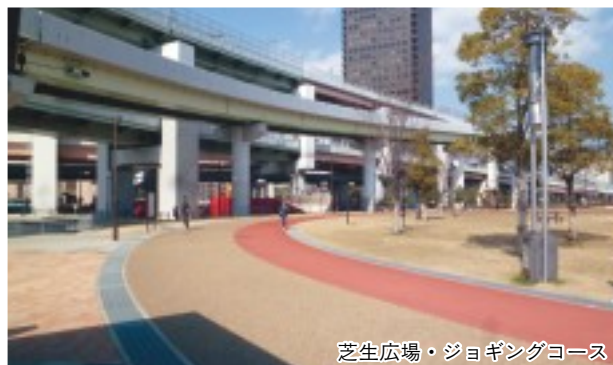
本公園は、みなとのもり公園検討会提案書を踏まえ、「市民参画によりつくり続ける公園」を具体化するため、実施設計及び工事、工事監理においても市民との協働による公園づくりを進め、また独立行政法人都市再生機構が進めている防災公園街区整備事業として、防災公園と周辺市街地の整備改善を一体的に実施する事業の取組みを行ったものである。

広がりのある芝生広場（みんなでつくる広場）を中心に、市民参画を始めるゾーン（苗圃，語り継ぎの広場等）、もりをつくるゾーン（市民による苗木植栽等）及び高架下を有効活用するゾーン（ニュースポーツ広場等）を計画し、阪神・淡路大震災の経験を後世に語り継ぎ、将来の災害に備える防災機能を有し、市民と行政が協働しながらつくり続ける公園整備を実現した。

作品概要

- 作品名：神戸震災復興記念公園（愛称：みなとのもり公園）
- 所在地：神戸市中央区浜辺通
- 発注：神戸市、独立行政法人都市再生機構西日本支社
- 設計：株式会社エイト日本技術開発、株式会社環境緑地設計研究所、株式会社ジャス
- 設計協力：市民ワークショップ（株式会社地球号）、基本設計懇話会及びみなとの森公園検討会、杉本正美名誉教授（九州芸術工科大学・神戸芸術工科大学）ほか
- 監理：株式会社エイト日本技術開発、株式会社URサポート
- 施工：株式会社西原組・大正建設株式会社、丸山造園土木株式会社、丸正建設株式会社、株式会社タイキ、関西植木株式会社
- 設計期間：平成16年2月～平成22年3月
- 施工期間：平成16年3月～平成22年3月
- 規模：約5.6 ha
- 主要施設：芝生広場、ジョギングコース、多目的広場、ニュースポーツ広場、安全の鐘、語り継ぎ広場、苗圃、災害用仮設トイレ、展望の丘、備蓄倉庫、イベント広場、交流広場、もり（外周植栽）等

広がりのある芝生広場（みんなでつくる広場）



芝生広場・ジョギングコース

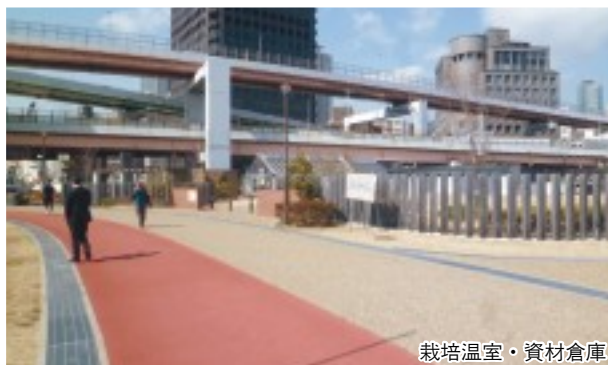


歌碑（しあわせ運べるように）

被災樹木等

市民参画を始めるゾーン（語り継ぎ広場）

市民参画を始めるゾーン（苗圃）



栽培温室・資材倉庫



安全の鐘

ニュースポーツ広場



展望の丘（備蓄倉庫）

もり（市民による苗木植栽等）

もりをつくるゾーン及び高架下を有効活用するゾーン